

<学校教育目標>

あたたかく、かしこく、たくましい
調和のとれた双葉中生徒の育成

- <善意> 他人を思いやる心を育てる
- <追究> 主体的に問題や課題を解決する自立心を育てる
- <挑戦> ねばり強く取り組む自律心を育てる

<市の学校教育方針と重点>

【めざす姿】
かしこく、あたたかく、たくましい、知・徳・体の調和のとれた児童生徒
使命感に満ち、児童生徒や地域住民とともに高まる、指導力のある教師

【重点】
人間尊重の気風がみなぎる学校
磨き合う授業づくり
地域ぐるみの教育

<総合的な学習の時間のねらい>

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

各教科等で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、深め、総合的に働くようにすることを目指す。
学校で学ぶ知識や技能等が実生活において生かされ総合的に働くようにする。

<教師の課題>

「自ら学び・自ら考える力」とはどのような資質や能力であるのかを追究し「生きる力をはぐくむことができる総合的な学習の時間の在り方」を明らかにする。
活動の場と方法を生徒の実態から生み出し柔軟な方法で生徒に活動の「必然」を実感させる。
自ら課題を見付けたり方法や場を工夫したりして「気付きと挑戦」を生み出す学習過程を設定する。
自己理解と他者理解を通して「自他を見つめ、共生の意義」を考える場と方法を工夫し、共によりよく生きていこうとする心情を育てる。

<生徒の実態>

活動に関心をもち、学習に進んで取り組もうとする姿が出てきている。
活動の内容に興味・関心をもち、進んで取り組もうとする生徒がいる。
見通しがもてる活動には、前向きに取り組もうとすることができる。
課題に対して取り組もうとする意欲や姿勢の個人差が大きい。
自ら工夫したり創造したりすることに弱さがある。
自己表現力に弱さがある。
他者と共によりよいものをめざして活動しようとする気持ちや意識に弱さがある。

<願う生徒の姿>

- 【意欲】
- ・興味・関心をもちて事象を見る生徒
 - ・新しい事柄に興味や関心をもち生徒
- <方法・内容・変化>
- ・新しい事柄や内容に挑戦しようとする生徒
 - ・自ら求めて追究しようとする生徒
 - ・主張点を明確にしてまとめようとする生徒
 - ・主張点を明確にして発表しようとする生徒
- 【思考】
- ・問題や課題に気付いたり発見したりすることができる生徒
 - ・必然を感じた追究テーマをもつことができる生徒
 - ・問題や課題の解決のために見通しをもつことができる生徒
 - ・方法を工夫して課題を解決することができる生徒
 - ・追究したことを効果的にまとめることができる生徒
 - ・追究したことを効果的に発表することができる生徒
- 【共生】
- ・人との出会いから学ぶ生徒
 - ・精一杯生きている生き方を受容することができる生徒
 - ・精一杯生きている思いを受容することができる生徒
 - ・自分と相手の違いを認めたり相手に共感したりすることができる生徒
 - ・自分の生き方を見つめることができる生徒
 - ・生きることの意義を見つめることができる生徒

<総合的な学習の時間の目標>

主体的に追究する生徒の育成

仲間と地域とのかかわりから「生きる力」を育てる

<内容と方法の重点>

地域や仲間とのかかわりを基盤にした活動において「意欲・思考・共生」の視点を重視した活動を工夫し、主体的に追究するための学び方や姿勢を身に付けさせ、「生きる力」を育成する。

重点	重点	重点
「意欲・思考・共生」の視点から育てたい資質と能力の内容と指導の在り方を明らかにする。	問題解決的な学習をめざした単元の学習過程の展開モデルを設定し、その有効性を実践・検証する。	年間活動計画と評価の在り方を明らかにする。
生徒の実態に応じた単元内容・活動内容の明確化と学習スキルの活用 * 学ぶ必然を実感させる指導の工夫 * 活動の方法を考え身に付けさせる指導の工夫 * 共生の視点から自他を見つめる指導の工夫	生徒が「学ぶ必然」を実感する活動過程の明確化 「見通す・追究・まとめ」の過程における「実践・計画・評価」の在り方 「人との出会い・ふれあい・体験」のもち方と活動ガイダンスの工夫	「共生」を核にし学年相互のかかわりを明らかにした年間活動計画の具体化 生徒の実態把握の仕方の工夫 生徒の実態と学習活動のねらいに即した評価の観点の設定及び評価の在り方の具体化

<総合的な学習の時間実施計画>

学期	第1学年	第2学年	第3学年
1学期	Step 1 仲間を知る 単元「仲間を知ろう」 新しく出会う3つの小学校の生徒が互いに理解を深め合い、ともに一つの学年をよりよく創造していこうとすることができる。	Step 3 地域で働く 単元「心の地図を広げよう」 地域の職場で働くことを通して、人としての在り方や生き方を自分の問題として考えることができる。 「まとめ」の場において地域で働く人々の思いや願いを自分の生き方と照らし合わせて表現することができる。	Step 5 生きることを見つめる 単元「平和を考える」 平和についての考えを深めながら、共に生きていくことの大切さを自覚し、自分の生き方を見つめることができる。 「まとめ」の場において平和を願う自分なりの考えを表現することができる。
2学期	Step 2 地域を知る 単元「地域を知ろう」 自分の住んでいる地域についての理解を広げることを通して地域への愛着を深めることができる。 「まとめ」の場において自分の住んでいる地域を自慢にしたり、誇りに思ったりして表現することができる。	Step 4 生きることを見つめる 単元「平和について」 平和の意味や意義をいろいろ方向から捉えることを通して平和を大切に人としての在り方や生き方を自分の問題として考えることができる。 「まとめ」の場において平和への思いや願いを自分の生き方と照らし合わせて表現することができる。	Step 6 地域に働きかける 単元「地域と共に生きる自分」 地域の環境や暮らしに自分から働きかけることを通して共生の大切さを実感することができる。 「まとめ」の場において地域の環境や暮らしに自分なりに貢献できる考えを表現することができる。
3学期			